



寒川町
自治会

さむかわ

自治会だより

2024.6
No.56



寒川町自治会長連絡協議会 会長 猿渡修悟



日頃より自治会活動に対し、ご支援ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

この度、寒川町自治会長連絡協議会会長に選任されました、猿渡修悟と申します。よろしくお願いいたします。

猛威を振るった新型コロナウイルス感染症も令和5年に5類へと移行し、この1年間は、様子を見ながらではありますが、なんとか以前の様な自治会活動を実施することが出来ました。各自治会では、今後、本格的な活動を進めたいと思っております。

そんな中、令和6年元旦に「能登半島地震」が発生し、大きな被害が出ています。各自治会でも、寒川が被災地になった時、どう対応すれば良いのか、自治会間で情報交換を行い、再度検討しているところです。

防災機材や備蓄品の整備も大事ではありますが、社会的弱者への支援体制の再検討も重要です。住民の高齢化

が進んでいる中、独居者や障がいをお持ちの方・小さなお子さんのいるご家庭へのきめ細かな支援についても、力を入れて取り組みたいと思っています。これは災害時だけに限りません。

支援を行う、共助(地域での助け合い)の主役は住民の皆様でもあります。支援体制を整える町づくりを進めていくためには、今後も自治会活動が大切なものとなります。

未だ自治会に加入されていない皆様も、ご自身のため、ご家族のため、ぜひ、自治会にご加入いただければ大変ありがたく思います。

これからも自治会活動へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

寒川学校給食センター視察研修 (表紙写真)



自治会長連絡協議会では、新設された寒川学校給食センターの視察研修を9月15日に開催し、自治会長や自治会役員の全21名が参加しました。

本センターの職員からの説明や映像による施設の概要紹介、施設内見学を行いました。栄養士による講演の後、実際に小・中学校で提供される給食(当日は中学生の食べる量)を試食しました。研修の中で、人気給食についても教

えていただきました。町ホームページには人気給食のレシピが掲載されています。

今回の視察研修は、本センターにおける給食の調理工程や衛生管理について、学校給食への理解を深め、地域・給食センター・教育施設・家庭が連携して寒川町の将来を担う子どもたちの「食育」を推進していくことを目的に開催しました。



令和6年度自治会長紹介 (敬称略)

田端	三堀 清廣	大曲	飯田 勝彦	菅谷台	廣田 正敏
一之宮東	森 一光	岡田東	末住野芽依子	大蔵	石井 耕一
一之宮西	横山 肇	岡田西	熊山 一利	小谷	大久保正司
一之宮北	金子 巖	新町	金澤 純一	新橋アパート	松本 優
一之宮ソフィア	猿渡 修悟	越の山住宅	鈴木 俊夫	宮山南部	若林 美穂
中瀬	大國 一郎	岡田もくせいハイツ	飯倉 利行	小動	米山 明夫
筒井	河合 秀倫	県営寒川もくせいハイツ第二	竹田 智一	宮山	西山 成二
				倉見	五島 修一

目次

会長あいさつ	1
令和6年度自治会長紹介	2
令和5年度自治会の活動報告	3
自治会に加入しませんか	12
自治会マップ	12

自治会の活動報告

寒川町の自治会では、より住みやすい地域にするため、お祭りやサロンなど住民同士の交流を深めるためのふれあい行事、日頃の生活に欠かすことのできないごみ集積所の清掃や管理、誰もが安心して住めるよう防災訓練や防犯活動を行っています。自治会だよりでは町内全22自治会それぞれが、地域の特色を活かして実施している様々な活動の一部を紹介します。

自治会活動について

令和5年度一之宮ソフィア自治会長 猿渡修悟

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、以前の様な自治会活動をできるようになりました。8月には一之宮地区4自治会合同主催の一之宮サマーフェスティバルを開催する事になりました。これまで、当自治会単独で納涼祭を開催していましたが、今回は近隣自治会との合同開催であり、災害時の協力体制強化にも繋がり、親睦を深める良い機会となりました。猛暑ではありましたが、会場の小学校校庭は多くの笑顔であふれ、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。年2回のまちぐるみ美化運動には合計で270名、ラジオ体操には1週間で374名と大勢のご参加をいただくことができました。自主防災訓練では、講師の方に防災クッキング(災害時に簡単に作れる食事)の実演をしていただきました。

「自助共助」の精神は災害時だけでなく、普段の生活にも必要です。住民同士の親睦を深め、大勢の方々に参加していただけるよう、今後も自治会活動を進めていきたいと思えます。



3 自治会合同防災研修視察

令和5年度岡田西自治会長 熊山一利

11月9日に岡田東・岡田西自治会と新町自治会の3自治会の計13名で茨城県の常総市交流センター(鬼怒川氾濫地域)へ防災研修視察に行きました。現地では平成27年9月の関東・東北豪雨による被災状況を資料に基づき説明していただきました。



報告があった住宅被害全8,381件のうち、全壊が53件、床上・床下浸水が3,253件、農業については62.9億円の被害があったそうです。

寒川町も大きな川が3本(相模川、目久尻川、小出川)流れています。万が一、1本でも川が氾濫した場合、水がひくまでは大変な時間がかかってしまいます。川の氾濫を防ぐ対策や氾濫後の住民対応を今以上に考慮する必要があります。



令和5年度の活動

令和5年度筒井自治会長 河合秀倫

コロナ禍による行動制限が解除され、社会活動も活発になり、キリンビバレッジ湘南工場への見学やこども神輿の展示、夏祭り、ラジオ体操、防災備蓄品の棚卸は役員をはじめ代議員、自治会員の皆様の力を合わせることで、実施ができました。何事も私には初めてづくしで、先輩方にご相談し、ご教授いただくことばかりでした。

自治会活動を担うのは、各組の代議員さんが年毎に持ち回りしており、私もその順番でした。役をお引き受けしたのには、娘からの質問や疑問に答えられなくなっていることに娘の成長を嬉しく感じつつも、何倍もの時間を過ごして来た自分が地域のこと、町のことを全然知らないこと、知ろうとしてこなかったのが悔しかったからです。何となく感じていたことも視点が変わり、捉え方も変わると色々なことが見えました。他の自治会長をはじめ木村町長、町に関わる多くの方と会話出来たことも良い経験となりました。令和5年度に出来なかった事業や活動は令和6年度に実現したいと思います。



ふれあいサロン「絆くらみ」の開催

令和5年度倉見自治会長 藤澤輝夫

高齢者の方を対象に、ふれあいサロン「絆くらみ」を実行委員会形式で開催しています。

令和5年度は、さまざまな趣向を凝らした内容で楽しんでいただきました。5月には茅ヶ崎警察署による防犯についての座学、7月には折り紙教室、9月にはマジック、11月にはさくら座の皆さんによる唄と踊り、1月には新年大抽選会を実施したほか、偶数月ではありますが、8月には子どもが夏休みで参加していただけるということで、特別に華やかなフラダンスを披露していただ

きました。

新年大抽選会には自治会役員や倉見自治会内の17町内会の正副会長がさまざまな品物を持ち寄り景品にしたほか、倉見地区のパチンコ店も品物をご提供くださり、最後に花の苗を皆さんにお渡しし、参加された全員が両手に賞品を抱え笑顔で終わることができました。



高齢化対策について

令和5年度県営寒川もくせいハイツ第二自治会長 竹田智一

高齢者の「孤独死」「孤立死」は、社会的な問題として取り上げられていますが、主たる原因は、高齢者の「地域社会とのつながりが希薄」「経済的困窮」と社会的背景があります。

孤立防止は、特に近隣住民とのコミュニティが大事です。そのため、自治会は積極的に高齢者の社会参加を呼びかけています。具体的には、自治会及び老人会・カラオケ愛好会・卓球クラブ・健康麻雀クラブ等への参加です。



また、病気や加齢による認知症の高齢者が増えています。特に独居の認知症高齢者は、町内外在住のご家族との連絡及び行政との調整に関わります。自治会は、認知症に対する知識を地域で理解し、見守っていこうと毎年「認知症サポーター養成講座」を開催しています。これからも、行政の協力をいただきながら健康寿命対策・フレイル予防・安否確認・健康相談等に取り組んでいきます。

自主防災訓練

令和5年度新橋アパート自治会長 松本優

令和4年度に続き、2月18日(日)に自主防災訓練を行いました。119番(火災・救急)の仕方と電気火災の実態、消火器の使い方について、約25名の自治会員の皆様と一緒に学びました。初めに、屋内にて電気火災のDVDを鑑賞し、コンセントプラグのホコリだまりや、配線タップのたくさんのプラグ部分からショートする火災発生原因を知り、その恐ろしさを知りました。普段からのホコリ除去、異物が挟まったのトラッキングショートを未然に防ぐ事の重要性を学びました。

次に、119番のかけ方を通話を通して学び、落ち着いて通話をする事の大切さを実感しました。後半は、火災発生初期の消火器の基本的な使い方を実地訓練を通して学びました。

災害はいつ起こるかはわかりません。日頃の自主防災訓練を通して、日常生活による火災・救急時に落ち着いて行動し、地震や自然災害はいつ起きても大丈夫なように、日頃から各家庭においても災害備蓄品等の用意をして欲しいと思いました。



令和5年度活動報告

令和5年度宮山南部自治会長 櫻尾善博

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法分類が5類へと引き下げられましたが、その後インフルエンザ等の流行もあり、残念ながらコロナ禍前のような自治会活動は出来ませんでした。

そんな中、役員会で自治会員のメリットについて議論を重ね、新しい取り組みとして備蓄用非常食(ワンデイセット)を各家庭に配布することと致しました。予算の関係もあり、量的に満足出来る配布ではありませんが、実際の有事の際は自助・共助・公助が原則となります。各家庭でも3日～5日分の非常食を備蓄していただきたいと思います。

年々自治会員の高齢化が進み、新規加入者も少なく会員数が減少、役員のなり手不足が否めません。役員の業務負担軽減も、喫緊の課題と考えます。会員皆様の協力なくして自治会は成り立ちません。今後も皆様のご協力をお願いします。



令和5年度の活動報告

令和5年度中瀬自治会長 大國一郎

新型コロナウイルス感染症の5類への移行により、活動の規制緩和が行われ、平常に進められるようになりました。月例の班長会議も対面で行いました。行事では、8月に猛暑の中でしたが「夕涼み会」を開催しました。盆踊りを中心に模擬店、抽選会に多くの自治会員の皆様の参加をいただき、無事終了することが出来ました。イベントでは、コロナ禍前に出演していただいた秦野市の「さんさ踊りを守る会」をお願いをし、10数名による演技を披露していただきました。



4年ぶりに、地域の皆さんとの触れ合いの場として有意義な時間を過ごすことが出来ました。1月の「どんど焼き」では無病息災を願うとともに、能登半島地震災害の復興と、災害に遭わないことを祈り実施することが出来ました。

いきいきサロン(60歳以上)の活動も順調に企画、実施してきました。班長・婦人会・消防団の協力を得て、自治会運営が進められてきました。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

自治会主催の盆踊り大会

令和5年度大曲自治会事務局長 多田健一郎

令和5年度は新型コロナウイルス感染症により自粛していたさまざまな活動が本格的に再開し始めましたが、コロナ禍前は毎年開催していた大曲神社のお祭りを再開するのは難しいとのことになり、代わりに大曲のシニアクラブ(ゆめクラブ)や子ども会、大曲太鼓保存会、大曲消防分団など様々な方たちと連携し、大曲自治会が主催で盆踊り大会を開催しました。



大曲神社にやぐらを立て、やぐらを囲んだ盆踊りの他、大曲太鼓保存会によるお囃子演奏、かき氷や綿菓子などの出店、ビンゴ大会などを行い、大曲地域内外から400人近い方がお越しくださり大いに盛り上がりました。

コロナ禍で縮小してしまった地域のふれ合いを大切に、大曲を盛り上げるため、毎年恒例で開催することを目指し、令和6年度も8月に開催する計画です。皆さん、ぜひ遊びに来てください。

自治会だより

令和5年度菅谷台自治会長 原幹夫

- ①以前の自治会は高齢世帯が多く、役員も大半が高齢者でした。会議等は早い時間にしてほしいとの要望があり、開始時間を早めたりしていましたが、最近の入会者は若い世帯が多く、行事参加者も増えました。
- ②新型コロナウイルス感染症も落ち着き、令和5年度は夏の集いを4年ぶりに開催しました。準備時間が少なかったものの、若い役員たちの元気な活動により、子どもから大人まで多くの参加者が集まり、楽しい集いとなりました。参加者の大半は子どもたちで、スイカ割、花火、ビンゴゲーム等で盛り上がりましたが、課題がありました。子どもたちの座る場所を確保するため、ビニールシートを広げようとしたのですが、見つからず個人のを拝借しました。
- ③ブルーシートは防災用として多量に購入、保管していましたが、管理不足で見つからず、後日実施した集会所の大掃除の際に、段ボールの下敷きとなった状態で見つけました。防災用資材の管理について、早速会議で検討し、改めました。
- ④その他行事としては、春・秋の美化運動と、なごみ会の例会を実施しました。



寒川町自治会

寒川町自治会長連絡協議会



「自治会長連絡協議会ホームページ」を開設しています。
自治会の情報やこれまでの自治会だよりを掲載しています。
PCやスマートフォンよりご覧ください。



**SAMUKAWA
JICHIREN**

寒川町の22の自治会は、住みやすいまちにするため日々活動しています。

夏休みラジオ体操

令和5年度小動自治会長 米山明夫

小動自治会では、夏休みに入った最初の1週間、午前7時30分から小動神社境内地で夏休みラジオ体操を実施しました。新型コロナウイルス感染症はやや落ちついてきましたが、熱中症に配慮して、涼しい木陰に入るなど注意を呼びかけました。



運動ボランティアの指導で準備運動を行った後、ラジオ体操の他に「わくわく体操」や脳トレにつながる指の運動を指導してもらいました。ラジオ体操第一の津軽弁バージョン・関西弁バージョン・イタリア語バージョンもあり、言葉はわからなくても楽しく体操ができました。子どもたちには自治会から体操カードを配布し、参加者にはかわいいハンコを押しました。毎日、ラジオ体操終了後には参加者全員に冷たい飲み物を配布し、最終日には、なごみ会(老人会)から子どもたちへお菓子のプレゼントがありました。参加者は1日平均約30名で、楽しいひと時を過ごしました。

秋祭り—あかね公園

令和5年度越の山住宅自治会長 鈴木俊夫

令和5年度のトピックスの1番は4年ぶりに自治会祭りを開催したことです。コロナ禍前は夏祭りを行っていましたが、自治会員全員にアンケートを取った結果、暑い夏は避けて、秋に開催する意見が多くありました。それを受けて、令和5年度は秋祭りを開催しました。あか



ね公園にて、組長、役員総出で防災訓練も兼ね、かまどで薪を燃やし、豚汁を提供しました。他にもパンと飲み物を自治会員全戸に、お菓子を子どもたちにそれぞれ無料で提供しました。余興として、町から用具を借り、グランドゴルフを青少年広場で行うなど、久しぶりの自治会員同士の交流の場となりました。

この他、防災訓練を春は大雨対応、秋は地震対応で行い、厚木の県総合防災センターの見学にも行きました。自治会内の改善対策としては、北側住民の不便を解消すべく資源ごみ置き場をあかね公園に増設しました。

自治会内の情報連絡の円滑化のため、自治会掲示板を設置するとともに、役員のネームプレートを作成し、各役員宅に掲げ、自治会の見える化を図りました。

自主防災訓練の実施

令和5年度岡田もくせいハイツ自治会長 神居一雄

新型コロナウイルス感染症が令和5年5月に5類に移行したので、11月26日に自治会員の協力を得て、自主防災訓練を実施することが出来ました。

訓練開始前に、自治会所有の発電機を久しぶりに起動し、投光器の点灯を参加者が確認する様子も見られる等、高齢化が進む中の室内講習が主でしたが、良いものでした。



町職員からの地震への備えが日頃から大切で、非常持ち出し品の整理や食料備蓄などの話の中で、普段食べている食品をローリングストックする話が参考になった方もいると思います。

消防職員からの「初期消火は炎が天井に達するまでで、それ以上は無理なので避難してください」と、「消火器の噴射時間は15～20秒と意外に短いので注意が必要」という話が印象に残りました。

その後、場所を屋外に移し、消火器の操作訓練を行い、訓練は無事に終了しました。今回の訓練内容が参加者の頭の片隅に残れば良いと思う時間でした。

活動報告

令和5年度小谷自治会長 大久保正司

令和5年度小谷自治会の主な事業、活動は次のとおりです。8月に小谷夏まつりを4年ぶりに開催、県警音楽隊や旭が丘中学校の吹奏楽部の演奏、県警カラーガード隊の華麗な演技を堪能しました。秋10月にサツマイモ掘りを実施。11月には健康・歴史散歩で寒川給食センターの施設見学と晩秋のひまわり摘みを楽しみました。

敬老の日には75歳以上の会員(または同居の家族)にお祝いのお菓子を届けました。令和5年にめでたく101歳を迎えられた方に長寿のお祝い金をお届けしました。自主防災活動では、スマホを使った安否確認の実施や関東大震災発災100年に当たることから、防災動画の視聴を行いました。お正月には子ども会等と連携して児童を対象にコマ回し遊び、競技会を実施。豚汁の提供や菓子パンの販売も行いました。令和6年度も各種イベントを通じて会員相互の交流、親睦が深まることを願っています。



自治会評議員会並びに新旧評議員・班長引継ぎ会議の紹介

令和5年度一之宮西自治会長 齋藤正信

一之宮西自治会は、毎月評議員会を開催しています。令和5年度2月開催の評議員会は令和6年度の評議員・班長にも参加していただき、新旧合同の評議員会と引継ぎ会議、約130名の方に参加いただき開催いたしました。

引継ぎ会議は評議員・班長の引継ぎ事項をはじめ、評議員・班長の役割と業務の説明や自治会組織・防災組織と取り組みの説明、災害時支援行動要支援者の対応などの説明をします。また、令和5年度は自治会役員任期満了(1期3年)に伴う役員改選が行われました。自治会役員改選は、新旧合同会議にて、審議事項として提案し、承認を得ることとなります。毎年度2月開催の評議員会は、出来る限り評議員・班長の引継ぎがスムーズに進め

られることを目的として、平成22年度より取り組んでいる自治会事業等をご紹介します。



自治会に入るメリットは

令和5年度田端自治会顧問 三堀清廣

当自治会は5つの町内会があり、加入の勧誘は各町内会長が行っています。時々「自治会のメリット」を聞かれます。メリットではありませんが、自治会は自分の住む地域をより良くしたいと思う人たちの集まりです。役割は、地域の安心安全や地域住民の親睦、行政とのパイプ役です。地域課題を何とかしたい、解決の役に立ちたい、「今は活動できないが会費を払うことで自治会を支えたい」と思う人なら大歓迎です。私自身、自治会を意識したことはありませんでしたが、住んでいる人が役割を果たす、そのような感覚でした。

行政との関係は、要望事項の取りまとめがあります。個人要望の場合、反対意見を確かめなければいけません。例えば、誰にもメリットと思える道路舗装要望は、「舗装された結果、抜け道として使われ、交通量が増える」という意見があります。当自治会では要望への反対意見が考えられれば、意見を求めます。



自治会行事の盆踊りや桜まつりは会員以外も参加でき、災害時に区別することはありません。自治会未加入でも普通に生活はできます。ですが、子どもに関わる人や地域が幸せであって欲しいと思います。どんな関わり方であっても、自分の住む地域が安心安全でありますようご協力いただけたらと思います。

一之宮東自治会活動について

令和5年度一之宮東自治会長 森一光

新型コロナウイルス感染症もようやく収束する中で、事業計画に沿った事業展開を目指しておりましたが、十分な事業の取り組みには至っておりませんでした。従来 of 事業計画に加え、初めて一之宮自治会連合会(一之宮西、東、北、ソフィア各自治会)を中心としたサマーフェスティバルを8月19日一之宮小学校校庭で開催し、楽器演奏やピアノ演奏、こども御輿、盆踊り等を催しました。各自治会はテントを張り出店し、約1,300人の参加者を得ることができました。

9月に開催した健康セミナーは約50名が参加し、同月24日には、例年実施している防災倉庫の点検を、10月29日は、防災訓練を開催しました。黄色いタオルを門戸に掲げた安否確認訓練を行い、班長が確認点検訓練報告し、会場では消火訓練、心肺蘇生法訓練、炊き出し訓練等を実施しました。年度末最後の事業として、3月24日には、南部公民館祭りに参加しました。



地域の皆様に支えられて

令和5年度岡田東自治会長 初鹿輝幸

岡田東自治会は、620世帯が加入しており、12地区の代表である評議員12名、その中から会長・副会長・会計・防災部長を選出し、1年の任期で運営をしています。1年の任期の中で、さまざまな活動を実施していくのはなかなか困難でしたが、世代を超えて多くの会員の方々の協力があったおかげで無事に令和5年度の任期を全うできました。なかでも7月2日に執り行われた菅谷神社の神幸祭では、岡田地域集会所と東守神社の2カ所が行在所となりました。4年ぶりに行われたということもあり評議員一同が手探りで準備を進めることになりましたが、サロンの皆さんをはじめ、多くの会員のお力添えもあり無事に行在所の運営ができました。

8月11日には、岡田東自治会・岡田西自治会・新町自治会の3自治会合同で夏祭りを開催し、大盛況をいただき、たくさん子どもたちに楽しんでもらったことが大きな喜びでした。ただ、子どもが参加できるイベントが夏祭りだけだったのが心残りです。令和6年度に想いを託します。



令和5年度活動について

令和5年度大蔵自治会長 石井耕一

令和5年度より新規行事として、自治会と大蔵消防分団(第9分団)との交流会及び自主防災訓練を大蔵地域集会所敷地内で8月19日に実施しました。消防分団員の紹介や子ども向けに消防自動車の乗車体験、消防ヘルメットの着帽、消防服は重く試着は無理でしたが、記念写真を撮るなど子どもたちに喜ばれました。防災訓練は消防分団員の指導の下、水消火器使用による消火訓練を子ども・大人問わず体験してもらうことが出来ました。また、炊き出し訓練として羽釜による炊飯をするため、かまどの設置、火起こし、米研ぎなど分担して行いましたが、経験者がいないため水加減、火加減などが難しく試行錯誤しながら何とか炊き上げ、おにぎりにし、バーベキューで焼いた肉などと一緒に食べました。



最後に消防自動車を背景に記念撮影をして終了です。今後も各種行事を通じ、親睦を図りながら地域住民の繋がりを第一に考え活動していきます。

令和5年度活動について

令和5年度宮山自治会長 鈴木利彦

日頃から宮山自治会の活動に、ご理解ご協力をいただき有難うございます。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症対策が緩和され、4年ぶりに様々な行事を開催出来ました。主な活動は、寒川町の相模川美化キャンペーンやさむかわまちぐるみ美化運動、寒川小学校で開催された、避難所開設訓練(根岸町内会長参加)などです。

寒川神社のお膝元の自治会として、4月の「年参講大祭並衛生祈禱祭」から始まり、次年度3月「宮山役員改選奉告祭」まで、ほぼ毎月の祭典に参列しました。特に7月海の日「浜降祭」、10月「宮山神社例祭」では、各町内会長が奉仕活動を行いました。浜降祭は、4年ぶりの御輿渡御を行ったのですが、どのように対応すればよいのか手探り状態で、関係各位と幾度となく、打合せをし、実施できました。宮山神社例祭は、宮山地区北側町内の御輿渡御もあり、盛大に行われました。

地域の皆さんのご協力、誠に有難うございました。今後とも宮山自治会へのご理解、ご協力をよろしくお願いたします。



振り返ってそして前へと

令和5年度一之宮北自治会長 金子巖

日頃より住み良い地域づくりにご協力頂き有難うございます。令和5年度の出来事を振り返りますと、8月19日、一之宮自治会連合会が一之宮小学校校庭にて開催した「Ichinomiya Summer Festival 第1回 夏だ・まつりだ・一之宮」を盛大に執り行えた事です。この取り組みは一之宮第1から第5までであった自治会が昭和58年に一之宮北第一、第二、西、東に改名され、40年経ったことを記念したものです。当自治会は北第一第二自治会から統合し令和5年に7周年を迎えました。皆様のご協力に報いたく、非常時持出袋ミニ防災7点セットを会員全世帯に配布しました。リュック型でお子様でも背負える紐付きです。

5月に一之宮公園で「子ども食堂まつり」と寒川鉄道保存会にご協力いただき、ミニ電車まつりを開催しました。賑やかな子どもの笑顔がたくさん見られました。

「子育てひろば」では、子育ての情報交換とママ友が出来る居場所づくりの要望が有り、月1回親子で和気あいあいとしています。7月の「体験幼児英語教室」は好評を頂き、以降毎月開催しています。8月31日にはラジオ番組に出演し、当自治会の特色や事業内容等をアピールしました。「高齢者サロン・フレンド」では津軽三味線とオカリナ演奏の鑑賞会、お笑いマジックショーを開催しました。

今後も自治会事業に参加出来る環境づくりと継続的かつ将来的に繁栄出来る自治会づくりの推進にご協力をよろしくお願いたします。





団体功労者総務大臣表彰



齋藤正信氏が受賞(前自治連会長)

令和5年11月30日に、令和5年度自治会長連絡協議会会長の齋藤正信氏が団体功労者として、総務大臣から表彰を受けました。

これは、自治会等の地縁による団体の代表者として多年にわたり在職し、地域的な共同活動を通じて、良好な地域社会の維持及び形成に顕著な功績があったと認められ、総務大臣が表彰するものです。

齋藤正信氏は平成19年度に一之宮西自治会長に就任してから令和5年度までの16年間、自治会活動に尽力し、特に地域防災力の向上や地域住民の安全の保持向上に努められました。また、16年間のうち9年間自治会長連絡協議会会長も務め、町の自治会運営を取りまとめ、安全・安心な地域づくりに取り組まれました。



(前から2列目、右から3番目)

自治会に加入しませんか

町内には22の自治会があります。自治会では、住民の生活に欠かせない活動として、防災活動、避難行動要支援者支援、ごみ集積所の管理と清掃活動、防犯活動、住民同士の交流が深まる各種行事や高齢者ふれあいサロンなどを実施しています。

自治会への加入については、お住まいの自治会か寒川町役場町民協働課へお問い合わせください。右の二次元コードからも電子申請で加入手続きができます。



自治会マップ



自治会	住所
田端自治会	田端
一之宮東自治会	一之宮 1丁目、一之宮 8～9丁目、中瀬
一之宮西自治会	一之宮、一之宮 2～8丁目
一之宮北自治会	一之宮 1～5丁目
一之宮ソフィア自治会	一之宮 7丁目（一之宮ソフィア茅ヶ崎内）
中瀬自治会	一之宮 1丁目、中瀬
筒井自治会	中瀬
大曲自治会	大曲 1～4丁目
岡田東自治会	岡田、岡田 3～5丁目、岡田 8丁目
岡田西自治会	岡田、岡田 1～3丁目、岡田 5～6丁目
新町自治会	一之宮 1～2丁目、岡田、岡田 1丁目、岡田 3丁目、小谷、宮山
越の山住宅自治会	岡田 8丁目

自治会	住所
岡田もくせいハイツ自治会	岡田 7丁目（寒川もくせいハイツ内）
県営寒川もくせいハイツ第二自治会	岡田 7丁目（寒川もくせいハイツ内）
菅谷台自治会	岡田 7丁目
大蔵自治会	岡田、岡田 7丁目、大蔵、小谷、小谷 1丁目
小谷自治会	岡田、岡田 5～7丁目、大蔵、小谷、小谷 1～4丁目
新橋アパート自治会	宮山（新橋アパート内）
宮山南部自治会	一之宮、宮山
小動自治会	小動
宮山自治会	岡田、小谷、宮山
倉見自治会	倉見

自治会に関する問い合わせは、寒川町町民協働課（74-1111 内線 732）